

第2回 世界遺産学習全国サミット 2011inなら

【概要版】

日本／ユネスコパートナーシップ事業

平成 23 年 12 月 24 日（土）、25 日（日）の 2 日間、全国規模の世界遺産学習の研究大会として「第 2 回 世界遺産学習全国サミット 2011in なら」を開催しました。世界遺産学習は、世界遺産や身近にある文化遺産などを通して地域に対する誇りや地域を大切に思う心情を育み、持続可能な社会の担い手としての意欲や態度を養います。今年の全国サミットでは、「世界遺産学習 子ども会議」をはじめ世界遺産に関する講演会や世界遺産学習の実践報告会、市民対象の世界遺産学習会を行いました。今回の全国サミットでの成果を今後の取組に生かしていただきたく、その概要をお知らせします。

平成 24 年 1 月 奈良市教育委員会

世界遺産学習 子ども会議 「わたしのまちのたからものを受け継ぐために」

長浜市、姫路市、奈良市の小・中学生 6 名が参加し、奈良市の中室雄俊教育長がコーディネーターを務めた。会議は、各校における学習の様子を発表した後、子どもたち一人一人が大切にしている「たからもの」について発言。そして、「たからものを受け継ぐために大切なことは何か」を考えた。

【長浜市立西中学校】

清水さん：次の代へ受け継ぐためには、まず文化の歴史、構成など正しい情報を詳しく知らなければいけない。

関口さん：建物や文化を今にあったものにかえるため、変化させたり、創造したりすることが大切だと思う。

【姫路市立手柄小学校】

上田さん：私は姫路城のことを学習して、多くの人たちにそのよさを伝えることが大切だと思う。

岡田さん：僕はみんなと協力して、多くの国がネットワークをつくると受け継がれると思う。

【奈良市立都跡小学校】

植田さん：歴史や自然を知り、大切に作る気持ちになってくれることが、受け継がれることになると思う。

寺山さん：知ると興味がわき、好きになって「大切にしよう」「傷つけないようにしよう」という思いになる。

中室教育長は最後に、「発表会やパンフレット作成などを通して『伝える』活動をしている。その気持ちを 5 年後、10 年後も忘れないでほしい。そして、自らが『伝える』という人になってほしい。」と子どもたちに話して締めくくった。閉会行事において、子ども会議のまとめを「子ども宣言」にして発表した。



第二回世界遺産学習全国サミット 二〇一一年 in なら
子ども宣言

わたしたちの身の回りには、古い文化財や美しい自然、昔から続いている伝統や文化など、誇れるたからものがたくさん残っています。しかし、残っているのが当たり前ではなく、昔の人々がそれを大切に思い、守り、伝えてきたからこそ、今こうしてわたしたちの目の前にあるのです。そのたからものを、わたしたちの時代で失くしたり終わらせたりするわけにはいきません。

わたしたちは、誇れるまちのたからものを未来に残していきたいと願い、ここに宣言します。

わたしたちは、

一、わたしのまちのたからものを知るために学び続けます。

一、誇れるまちのたからものを多くの人に伝えていきます。

一、それぞれのまちのたからものを皆と協力して受け継ぎます。

一、わたしのまちのたからものを受け継ぐために、人とのつながりや絆を大切にします。

平成二十三年十二月二十四日

長浜市立西中学校	二年	清水	彩未
姫路市立手柄小学校	五年	上田	梨奈
奈良市立都跡小学校	六年	植田	涼介
	五年	岡田	一哲
	二年	関口	耕大
	五年	寺山	紘大

世界遺産学習 講演会「奈良の伝統行事に学ぶ」奈良国立博物館学芸部長 西山 厚 氏

春日若宮の祭神である若宮様は、1003(長保5)年3月3日に誕生し、今年で数えの1009歳になった。1136(保延2)年は、大雨のために洪水や疫病が発生して、多くの人々が苦しんでいた。関白藤原忠通は若宮様に「天下泰平・五穀豊穰・万民安楽」を祈願して、おん祭を始めた。おん祭はそれ以来一度の中断もなく続いており、今年も876回目だった。若宮様は12月17日午前0時に社殿を出て、お旅所でおよそ24時間を過ごす。その時間帯に、お旅所の前ではさまざまな芸能が奉納される。若宮様に喜んでいただくことで、願いを成就させようとしているのである。



東大寺二月堂のお水取りは752(天平勝宝4)年に東大寺の実忠が始めた行法で、1260年間一度の中断もなく続いている。お水取りは、東大寺の僧侶が本尊の十一面観音にお詫びをする行事である。昔の人は、災いは人間が悪いことをするから起きると考えた。災いが起きないようにするには悪いことをしなければよいのだが、人間は悪いことをやめられない。だからお詫びをしてその罪を消してもらおうとするのである。練行衆と呼ばれる11名の僧侶は、3月1日から14日まで、十一面観音にお詫びを続け、あわせて「天下安穏・五穀成熟・万民豊楽」を祈願する。お水取りは大きな松明が有名だが、お詫びの行法は松明が消えたのちに始まる。

おん祭は、神様に喜んでもらうことで「天下泰平・五穀豊穰・万民安楽」を実現しようとした。お水取りは、十一面観音にお詫びをすることで「天下安穏・五穀成熟・万民豊楽」を祈願した。いずれも個人的な祈りではなく、みんなの幸せを祈っている。奈良のほかの伝統行事もそうだし、全国各地の伝統行事も同様である。そのことを忘れてはならない。演出家の宮本亜門さんに「お水取りもおん祭もみんなの幸せを願う行事だと語っておられましたが、なぜ個人のためではないのでしょうか？」と質問された時に、私は次のように答えた。「かつては、お寺でも神社でも、みんなの幸せが祈られました。天下泰平・五穀豊穰・万民豊楽。人はひとりでは幸せになれない。なっちはいけないのです」。伝統行事に学ぶとは、こういうことだと思っている。

世界遺産学習会(1)「平城京の深層」奈良文化財研究所副所長 井上 和人 氏

平城京や藤原京を発掘調査していると、大きな道路には必ず側溝があり、そこから板きれがたくさん出てくることがある。これを籌木(ちゅうぎ)と言い、お尻をふいた道具である。便所は人間にとっては必要なものなので、普遍的な施設であれば何百と見つかったいいはずだが、平城京では50年間発掘調査をして一つも見つかっていない。藤原京の発掘調査で見つかった穴には糞が残っており、いかにも便所のように考えたいが、これまで50年間続けてきた藤原京の発掘調査で、穴が見つかったのはわずか3か所である。私は、これは便所ではなく糞を捨てるための穴であると考えている。

次は木簡に関わる話だが、平城京では24万点、全国各地でも30万点近く発掘されている。ある木簡は割れているが、三つに割れているうちの二つを合わせてもびったり合わない。なぜかという割った部分を削っているからである。要するにこの木簡は籌木に転用されたものであると言える。完全な形で発見される木簡は2割ほどしかない。ほとんどが断片になっている。なぜ断片になっているかという、従来の理解では内容を読めないようにするための措置ということだが、それは籌木に転用されたためだと思っている。



次に平城京が造られた理由である。平城京は藤原不比等が孫(後の聖武天皇)のために造った都であると言われている。しかし、これは間違いである。私は考えている。実は藤原京の方が平城京より大きかったが、その藤原京をわずか16年間で放棄しなければならなかった極めて切実な歴史的な背景がある。当時の中国は世界の文明・文化の中心であるという中華思想があり、唐は強大な軍事国家であったので、唐から日本を守るため、また唐に対する恭順の意を形として示すため、平城京を造らざるを得なかったのである。

世界遺産学習会(2)世界遺産学習を支える人々によるシンポジウム「今、子どもたちに伝えたいこと」

村田昌三氏（鼓阪北小学校地域コーディネーター）

日本人は昔から生活の中で自然を大切に育てて、自然とともに生きてきた。鼓阪北小学校は、平城京遷都の初代元明天皇、次の元正天皇の御陵も近くにある。すぐ隣には延喜式内社の奈良豆比古神社があり、国指定の重要無形民俗文化財の翁舞（おきなまい）も地元で保護されている。この校区は、古い歴史をもつ地域であると同時に自然豊かな環境を大切にしてきたので、水や空気も含めたよい環境を子どもたちや後世に伝えることが私の夢である。



鈴木民子氏（奈良国立博物館）

文化・文化財は、今危機に瀕しているものがたくさんあるが、大切に思う人が多いほど、確実に文化財の寿命は延びていく。我々が子どもたちに託す思いはたくさんあるが、まずはきっかけをつくっていききたい。子どもたちが、自分の郷土だけでなく日本の文化財、世界の文化財を語れる大人になってほしいと切に願っている。

上田益世氏（NPO 法人なら・観光ボランティアガイドの会 朱雀）

子どもたちに世界遺産のすばらしさを知らせていくことが大人の義務。知らないと価値はわからないし、保存していかなくてははいけないとも考えない。世界遺産学習を通じて命の尊さ大切さ、生きることを意味を考え、素晴らしいものを未来に引き継いでいくというような子どもになっていただきたいと思う。

西崎卓哉氏（奈良市文化財課長：コーディネーター）

世界遺産学習の目指すものは、みんなが笑って暮らすことのできる心地よい地域社会の構築と健全な人格の形成だと思う。子ども会議を見ても、子どもたちは地域遺産を受け継ごうとしている。我々大人がしっかりと発信し、地域の魅力と未来に残したいと思う心をしっかりと伝えることが大切な役割だと思う。

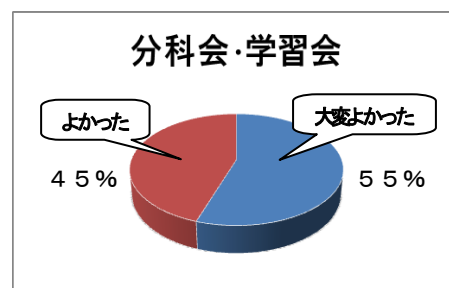
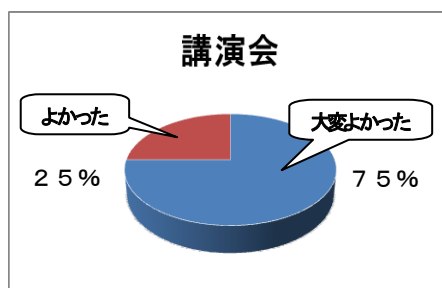
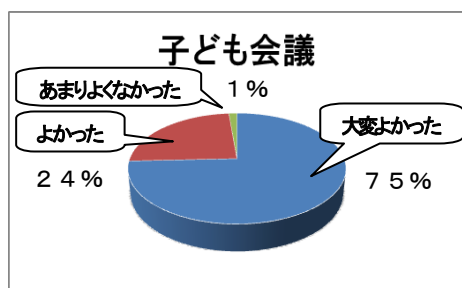
分科会での報告

すてきなところがいっぱい！登美ヶ丘	奈良市立登美ヶ丘幼稚園	教諭	松原 恵里子
こんなすてきな町なんだ	奈良市立右京小学校	教諭	明山 将弘
子どもが主体的に学ぶ「大牟田の宝もの」	大牟田市教育委員会	指導主事	古賀 信弘
守り伝えよう奈良の文化遺産	奈良市立大安寺西小学校	教諭	仲西 亮悟
浅井氏三代と小谷城跡から学ぶ	長浜市立小谷小学校	校長	片桐 宏
ならまちの赤いバケツ	奈良市立三碓小学校	教諭	藤田 紗代子
体験学習を核にしたふるさと学習の推進	小浜市立雲浜小学校	教諭	廣澤 豊子
奈良の世界遺産を商品化しよう	奈良市立佐保台小学校	教諭	西谷 隆詞
発見！地域の遺産と世界遺産	桜井市立桜井南小学校	教諭	大矢根 祐子
民話をくらべて読もう	奈良市立都祁小学校	教諭	新子 慶行
平泉町における青少年の地域遺産学習	平泉町教育委員会	室長補佐	千葉 信胤
鎌倉時代の奈良の仏教	奈良市立平城西中学校	教諭	宮本 琢也
職人にふれ、職人に学ぶ 伝統のいぶし瓦づくり「職人体験」	姫路市立神南中学校	校長	秋本 隆夫
	姫路市立船津小学校	校長	平田 己江子
	奈良市立一条高等学校	教諭	犬伏 雅士
高校4学科と大学が連携した薬師寺プロジェクト			
次の100年に引き継ぐために！～若草山ノシバ自生地の保護と地域への拡大～	京都府立桂高等学校	TAFF「地球を守る新技術の開発」班	
学校で守る！世界遺産が残した絶滅寸前種 ニッポンバラタナゴ	奈良市立柳生中学校	教頭	奥西 智恵子
	同	教諭	田中 克彦
	近畿大学農学部	講師	北川 忠生
	同	修士課程1年	池田 昌史
	同	4年	川上 拓人
アジア/太平洋小・中・高・大学生ESDワークショップ、2011 Voice of ESD in Asia-Pacific, 2011	大阪府立大学	准教授	伊井 直比呂
教員・学生・子どもでつくった奈良ASP子ども会議	奈良教育大学附属中学校	教諭	福田 哲也
	奈良市立帯解小学校	教諭	西田 達也
	奈良教育大学	ユネスコクラブのみなさん	



アンケート結果(参加者の声と満足度)

- 子どもたちの発表が、はきはきとよくわかり、内容や伝えたい心、言葉がしっかり私たちの心に響きました。6人の子どもたちは、それぞれに受け継ぐために大切なことなどをしっかり考えていました。【市外教職員】
- 西山先生のお話を聞くと、「もっと知りたくなる」という気持ちが深まりました。お水取りについて、さらに認識を深めることができ、子どもたちに伝えていきたいと思います。【県外教職員】
- シンポジウムよかったです。子どもの学習を支えてくださっている人、団体、ネットワーク。この協力があったの学習だと良く分かりました。奈良市の素晴らしい実践を知ることができてよかったです。【市内教職員】
- 歴史の本に出てこない尿尿処理のお話、面白かったです。とても興味をもって聞くことができました。【市内教職員】
- 幼稚園の取組が身近で具体的で学べました。まず、身近な自分たちの町に愛着をもち、知り、大切に思う気持ちを育てること。そのためには意図的・計画的な保育実践が大切だと感じた。【市内教職員】
- 奈良市では世界遺産学習で学ぶことはたくさんあるけれど、「他市ではどうかな」と、知人と話していたところだったので、小谷小学校の取組はとても興味深く、楽しく発表を聞かせていただきました。【市内一般】
- 実際に能楽を見たり地域に伝わる話を聞いたり文化遺産と触れ合うことから自分たちの地域と結びつけることで、地域に対する愛着を深めるという点等から世界遺産学習の意義を感じました。【県外教職員】
- 桂高校の発表は本当にレベルの高いもので驚きました。しっかりとした研究、調査から結果も出されていて感動しました。これからの環境、生物多様性の保全にすごく重要になってくる活動になると思う。【県外大学生】



第3回世界遺産学習連絡協議会 総会

平成21年度に、世界遺産や地域遺産などの優れた文化遺産や自然遺産を教育的に活用し、地域を大切に、誇りに思う心を養う世界遺産学習並びにESD(持続発展教育)の実践の交流と情報交換、及び研究大会の開催等の充実・推進を目的に世界遺産学習連絡協議会を設立しました。現在、16の教育委員会と4つの学校が参加しています。

12月24日(土)に開催された総会では、文部科学省大臣官房国際課国際協力政策室長の浅井孝司様にオブザーバーとして出席いただき、各会員から教育実践・教育施策の報告の後、気仙沼市、長浜市、豊中市の3教育委員会と東大寺学園中・高等学校が新たに会員として承認されました。また、平成24年度世界遺産学習全国サミットは、奈良市で開催されることが決定しました。



【正会員】

深浦町(青森)、平泉町(岩手)、気仙沼市(宮城)、長浜市(滋賀)、斑鳩町(奈良)、橿原市(奈良)、桜井市(奈良)、堺市(大阪)、豊中市(大阪)、藤井寺市(大阪)、姫路市(兵庫)、大田市(島根)、大牟田市(福岡)、屋久島町(鹿児島)、読谷村(沖縄)、奈良市(奈良)

【学校会員】

奈良教育大学、奈良県立法隆寺国際高等学校、東大寺学園中・高等学校、羽衣学園高等部(大阪)

連絡協議会へのご参加をお待ちしております